

2016年度 特定非営利活動法人さがみはら市民会議 事業報告書

第1 総括

2016年度は、サポートセンターの運営再受託5期目の3年目であった。センターの運営については、引き続き、事務局長を中心にスタッフの創意工夫が発揮されて、問題もなく運営ができたと自負している。また、センター長の後任の人選も終わり、次年度以降は新たな体制で、さらに充実したセンター運営ができるものと思われる。また、市民会議に新たなメンバーも加わり、継続的に当法人を運営していく目処ができたと思われる。

第2 事業報告

特定非営利活動に係る事業

1 NPOへのマネージメント研修・講習活動

本年度は該当事業なし

2 各分野のNPO活動の連携をめざした交流活動

1) 定例会の開催

「どうなるサポセン? 緑区・南区」

日 時: 9月20日(火) 18:00~19:30

会 場: さがみはら市民活動サポートセンター会議室

趣 旨: 市民活動サポートセンターも2012年の開設からはや14年、2010年の政令市移行を経て、開設時とは大きく状況が変化してきました。少しでも身近なサポセンであるために、南区と緑区にもサポセンをという流れのなかで、現状を把握し、今後に向けて考える機会を設けることにしました。

基調報告: 市民協働推進課 的場氏

参加者:

2) 相模原・町田大学地域コンソーシアム

当法人も法人会員として活動に参加した。

3 NPOに関する分野を横断した政策提言活動

1) 地域ポータルサイトの構築

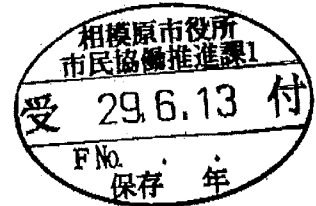
2010年度に立ち上げたプロジェクトの第7年度目を遂行した。民間3団体と相模原市との協働事業として「相模原市コミュニティサイト運営プロジェクト」を実施してきた。

主な事業成果は下記の通りであった。

① ポータルサイトのコンテンツの充実

初年度に出来上がった構成の詳細にわたって、内容の充実を図った。現在のサイトには以下の内容が含まれている。

- ・団体ホームページ(93件。当年度は13団体増加、2団体閉鎖となった。)
- ・コミュニティサイト(各種自由なコミュニティが構築できるようになっており、2件増加して、現在38件のコミュニティが作られているが、活発な状況ではない。)
- ・日記コーナー
- ・みんなの掲示板
- ・相模原市からのお知らせ
- ・関連リンク集
- ・市関連のブログの掲載……中央区フォトニュース、中央区交通安全・防犯実施レポート(中央区分は新規対応)、中学校給食、博物館職員ブログ、地域の情報ブログ
- ・自治会がいらんばんの掲載……地域情報誌のネット版のパナーリンクをポータルサイト



に設置している。

- ・こみかるきつず相模原、市民カメラマン、いきいきシニア応援サイト、家庭ゴミ分別サイト、さがみはらシティセールス、いい～さがみはらなどのバナーを設置し、情報収集の利便性を図っている。
- ・市内のマスコットキャラクターの大辞典を編纂しアップロードした。

② 投稿編集会議

- ・ポータルサイトを支えてくれるサポーターが集まり、投稿の企画を行う会議を6回開催した。

③ 市民への広報活動、利用促進活動

- ・団体ホームページコーナーの利用促進と内容改善のために、構築と更新についての説明会を7回開催した。延べ参加者数は34名となった。

9月5日、9日、3月10日、14日 HP新規制作講座……26名

8月21日、8月23日、2月20日、25日、 HP更新講座……8名参加

④ システムの改善

- ・昨年、ホームページ構築に利用しているWordpressを新しいバージョンに変更した。それにより、新規に制作されるホームページはスマートフォンでの閲覧においても見やすいものになっている。

⑤ サイトに対するアクセス数の指標として、ページビュー数（全何ページが閲覧されたか）は、2015年度1年間で222,679件、2016年度で328,462件となり、増加傾向が顕著となった。これは、本年度11月以降にカウントされ始めた子育て支援サイト「こみかるきつず相模原」のアップロードが寄与している。

2) 企業・NPO・大学 パートナシップミーティングin県央 の開催
サポートセンター事業報告書記載のとおり

4 市民へのNPOに関する広報、情報収集と発信活動

1) 会報の発行

本年度は会報を発行しなかった。

2) 市民桜まつりへの参加

本年は、2日間参加いたしました。

3) ホームページによる広報活動

本年は、更新はしていない。

4) さがみはら市民活動フェスタの参加

本年は団体としては参加しなかった。

5) FMさがみ「竹中通義モーニングワイド“市民活動 hot リポート”での団体紹介
サポートセンター事業報告書記載のとおり

5. さがみはら市民活動サポートセンターの管理運営事業

別紙「さがみはら市民活動サポートセンターの管理運営事業」事業報告の通り

6 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1) 組織拡大活動

本年度の新入会員は、3名です。

以上

2016年度 さがみはら市民活動サポートセンター事業報告書

2017年3月31日

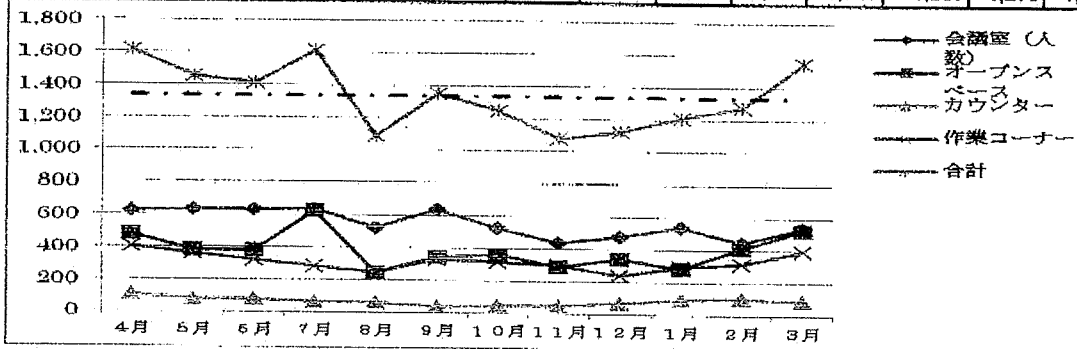
1. 事業報告

1) 会議室、作業スペースなどの提供に関すること

考察：今年度は利用者数が減少傾向にあるが、原因として考えられることは、会議室の予約キャンセルが多かった事、利便性の面から南区のユニコムプラザを利用する団体が増えた事等が減少の一因として考えられる。曜日別では、土曜日を定期的に利用する団体があり増加の傾向にある。相談件数は大きく増加しており、センター長補佐の対応やスタッフのスキルアップが大きな要因と思われる。また、たすかるバンクや団体登録・情報掲載時の相談を受付票に起票することをスタッフに意識付けしたことも大きい。

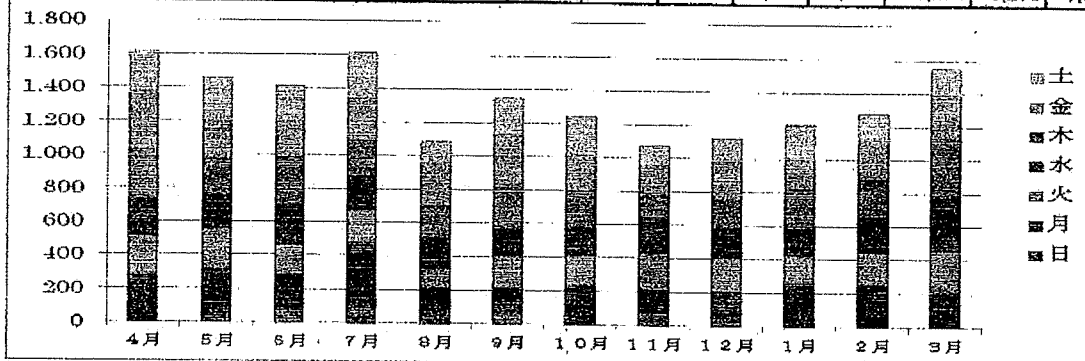
1. 利用者数

平成28年度	H28										H29			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
会議室(人数)	625	635	632	638	528	639	527	439	478	542	451	538	6,672	
オープンスペース	479	382	382	631	247	348	359	288	341	282	412	527	4,678	
カウンター	103	76	78	62	83	34	48	49	69	92	103	90	867	
作業コーナー	404	362	320	282	248	329	313	300	238	293	312	395	3,796	
合計	1,611	1,455	1,412	1,613	1,086	1,350	1,247	1,076	1,126	1,209	1,278	1,550	16,013	



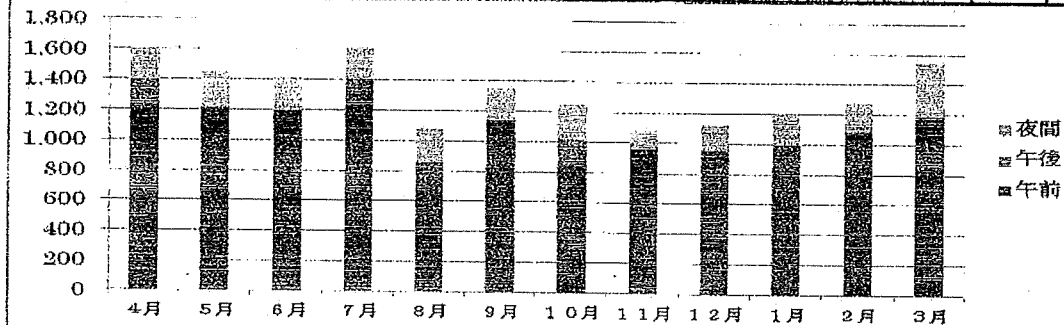
2. 曜日別利用状況

平成28年度	H28										H29			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
日	105	143	92	374	80	117	102	79	66	133	128	126	1,545	
月	175	169	184	102	128	93	137	126	140	131	126	80	1,591	
火	233	251	188	199	121	202	176	228	204	166	199	255	2,422	
水	219	188	236	198	178	149	158	202	173	153	203	316	2,373	
木	294	221	285	219	194	271	225	134	170	238	226	355	2,832	
金	341	237	215	247	249	301	214	185	243	178	243	262	2,915	
土	244	246	212	274	136	217	235	122	130	210	153	156	2,335	
合計	1,611	1,455	1,412	1,613	1,086	1,350	1,247	1,076	1,126	1,209	1,278	1,550	16,013	



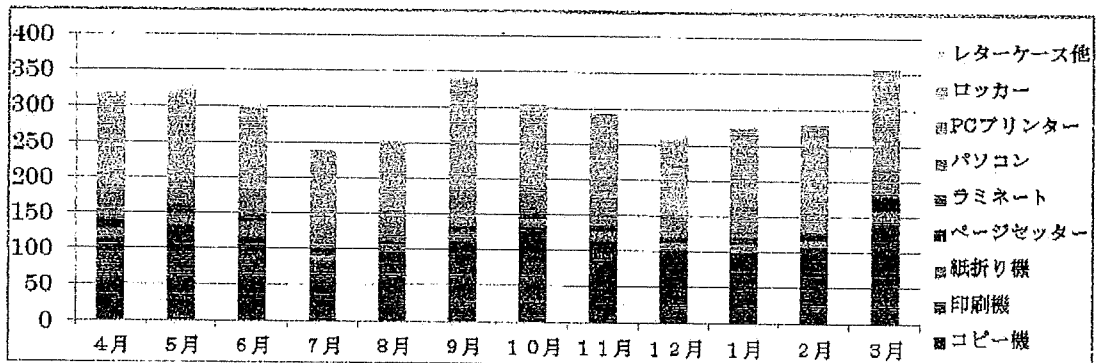
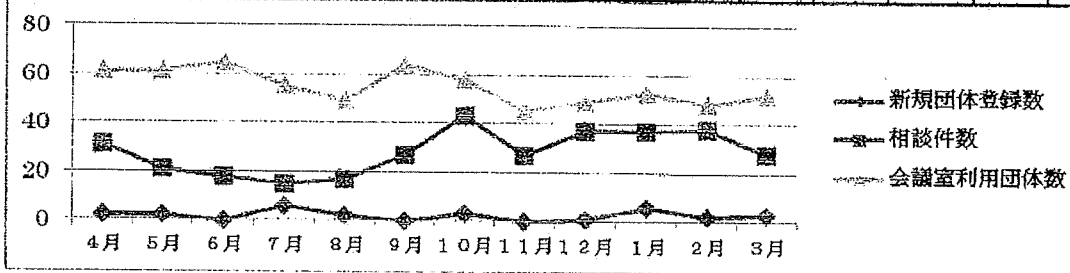
3. 時間帯別利用状況

平成28年度	H28										H29			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
午前	764	544	558	739	414	571	537	472	481	494	578	728	6,880	
午後	637	670	638	668	442	568	486	490	476	497	507	464	6,543	
夜間	210	241	216	206	230	211	224	114	169	218	193	358	2,590	
合計	1,611	1,455	1,412	1,613	1,086	1,350	1,247	1,076	1,126	1,209	1,278	1,550	16,013	



4. 各種利用件数

平成28年度		H28										H29			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
新規団体登録数		2	2	0	6	2	0	3	0	1	6	2	3	27	
相談件数		31	21	18	15	17	27	43	27	37	37	38	28	339	
会議室利用団体数		61	61	65	55	49	64	58	45	49	53	48	52	660	
設置機器	コピー機	24	42	26	27	26	25	30	32	30	25	29	40	356	
	印刷機	90	90	91	56	71	86	102	83	73	75	79	104	1,000	
	紙折り機	13	15	20	8	9	15	13	12	10	11	9	16	151	
	ページセッター	13	12	6	8	4	6	6	6	6	8	8	19	102	
	ラミネート	2	4	7	2	1	2	7	3	2	2	3	4	39	
	パソコン	48	32	34	35	43	54	34	40	31	43	28	36	458	
	PCプリンター	11	5	7	8	14	26	8	6	10	12	10	11	128	
	ロッカー	115	122	105	94	84	124	105	112	95	97	114	126	1,293	
レターケース	1	6	5	2	1	4	3	3	6	4	2	4	41		
合計		317	328	301	240	253	342	308	297	263	277	282	360	3,568	



2) 市民活動団体等の紹介や相談等への回答・助言に関すること

1. ボランティア情報誌『笑顔』の作成と配布(隔年発行3回目)

目的 : ボランティア希望者に的確な情報提供を行う

作成時期 : 11月～3月

掲載団体 : 66団体(前回より11団体増加)

発行部数 : 1500部発行

配布先 : 登録団体、市内NPO法人、たすかるバンク人材登録者、公民館等公共施設、相模原・町田市内の大学、県内中間支援施設、窓口配布他

2. 市民活動全般に関する相談業務

相談項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
設立	4	1	2	3	1	1	2	3	4	1	3	0	25
人材	1	3	1	0	2	2	1	0	3	2	2	3	20
広報	6	5	5	2	4	3	9	2	6	7	6	3	58
交流	1	1	1	2	0	1	3	0	2	4	0	0	15
企画	1	1	0	2	0	0	0	2	0	0	1	1	8
経理	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	5
税金	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
資金	2	1	1	1	1	2	2	2	2	0	4	1	19
事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
活動拠点	0	0	1	0	1	1	2	2	1	0	2	0	10
団体情報	3	3	1	2	3	3	4	5	6	19	9	6	64
ボランティア	5	2	3	0	2	2	4	2	3	6	7	4	40
たすかるバンク	6	8	4	3	4	10	6	2	2	0	5	4	54
その他	2	3	3	5	5	4	13	11	17	5	4	9	81
合計	33	30	22	20	23	29	46	31	46	45	44	31	400

注 : 前出の相談件数と数が合致しないのは、相談受付票に複数の項目が記載されており、該当項目を複数選択しているためです。

3) 市民活動団体運営基盤強化に関すること

1. NPOの基盤強化をより一層推進するためのNPOに関する相談会の開催

※3区それぞれの地域の特性を捉えながらNPOの基盤強化を図っていくことを目的とし、今年度より、南区「ユニコムプラザさがみはら」、緑区「ソレイユさがみ」に相談会場を設け、3区でNPOよろず相談会を開催することとした。

「NPOよろず無料相談会」

相談日 : 各区 原則、月2回。但し、5月、8月、12月は1回のみ

相談場所 : 中央区—さがみはら市民活動サポートセンター 第1木曜、第3火曜

南区—ユニコムプラザさがみはら 第2土曜、第4水曜

緑区—ソレイユさがみ 第1火曜、第3木曜

相談時間 : ①13:00～ ②14:00～ ③15:00～ 各40分程度

相談員 : センター長、センター長補佐、さがみはら市民会議会員等が対応

参加費 : 無料

よろず相談 区別相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サポセン	1	0	4	0	3	1	2	1	1	0	0	2	15
ユニコム	0	4	5	5	0	4	3	0	2	7	2	4	36
ソレイユ	0	1	1	2	1	3	0	2	0	2	0	0	12
	1	5	10	7	4	8	5	3	3	9	2	6	63

2. NPOの基盤強化に関する講座

「基礎・会計・労務・報告書の書き方」講座を開催

* 報告書は「学習機会の提供」を参照

4) 市民活動に役立つ情報の収集・提供に関すること

1. 広報紙「さぼせんナウ」の発行

※今年度から、より親しみやすい紙面づくりを目指し、1面にたすかるバンクの人材を活用して“世相を反映する手書きのイラスト”を挿入した。

・発行回数：偶数月発行 4月：61号、6月：62号、8月：63号、10月：64号、12月：65号
2月：66号

・発行部数：2,000部

・常時配布：約700件（複数枚配布）

サポートセンター登録団体	360団体
市内NPO法人	120団体
市内公共施設	140ヶ所
大学（相模原・町田）	20箇所
たすかるバンク人材登録者	40名
市外中間支援施設等	20ヶ所

・随時配布：講座・イベント参加者等

・主な内容（特集記事）は下記の通り

第61号 2016年4月15日発行

今、NPOがおもしろいコーナー：NPO法人 Spitzen Performance

第62号 2016年6月15日発行

今、NPOがおもしろいコーナー：NPO法人 文化学習協同ネットワーク

第63号 2016年8月15日発行

今、NPOがおもしろいコーナー：あいおい「みんなの食堂」

第64号 2016年10月15日発行

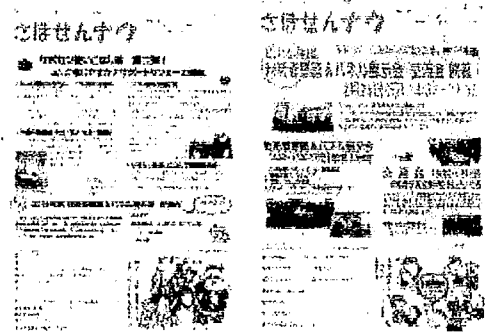
今、NPOがおもしろいコーナー：NPO ユーラック

第65号 2016年12月15日発行

今、NPOがおもしろいコーナー：人と犬にやさしいクラブ「フレンズ」

第66号 2016年2月15日発行

今、NPOがおもしろいコーナー：橋本地域住民防災検討会



2. ホームページ・メールマガジン・Jcom 等情報発信の充実

・ホームページ：団体イベント情報HP 発信件数：355件（2016/4～3月）

情報種別にタイムリーな更新を実施中。

・メールマガジン情報発信件数：512件（2016/～3月）

・J:com生活情報発信件数（MAX 10件/月）：120件（2016/4～3月）

3. タウンニュース「さがみはらの輪」への団体情報掲載

・利用団体数：8団体（2016/4～3月 掲載月）

4. 「さぼせんナウ」へのチラシ同封サービス

・利用団体数：19団体（2016/4～3月）

5. FMさがみ「竹中通義モーニングワイド“市民活動 hot リポート”」にて団体紹介

今年度より NPO 法人さがみはら市民会議がスポンサーとなり、FMさがみの「竹中通義モーニングワイド」でサボセン登録団体の活動を紹介する事業を新たに開始した。

・放送日：毎週火曜日 9時5分から 5～10分程度

・内容：インタビュー形式で市民活動団体の活動紹介を行う

但し、月の第1週目はサポートセンター事業のPRを行う

・出演方法：スタジオ若しくは電話で生出演

原則1ヶ月3団体 37団体出演（2016/4～3月）

・選出方法：登録団体の中から分野・活動内容を検討し

サボセンから声かけをする



5) 市民活動の活性化に資する学習機会の提供に関すること

1. 市民活動基盤強化講座

1-1 【NPO 基礎講座】 全3回開催

考察：3区での開催は7年目となり恒例化した。今年度もNPO法人取得のメリット・デメリットを各区2団体にお話し好評を博した。

昨年度は相模大野会場が盛況だったが、今年度はサポセン会場が定員を超える申込みとなった。会場より開催日が参加に結び付いていると思われる。

趣旨：NPOについて知りたい、NPO法人を立ち上げたいと考えている方に向け「NPO はじめの一步講座」を開催する。開催場所は南区・中央区・緑区の3ヶ所とし、各区で活動している2法人に、法人申請のきっかけ、取得後のメリット、デメリットなどを紹介して頂く。尚、昨年度に引き続き東京地方税理士会相模原支部の協力を得てNPO会計の基本の「き」についてお話頂く。

講師：さがみはら市民活動サポートセンター センター長 水澤 弘子

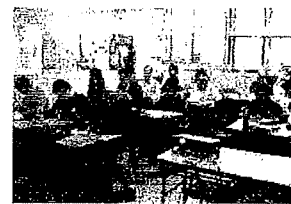
相模原市市民協働推進課 NPO担当

東京地方税理士会相模原支部 市川 孝幸 氏

事例報告：各区のNPO法人2団体

参加費：500円

定員：各20名



第1回 NPO 初めの一步講座 中央区

日時：2016年4月18日(月) 13:30~16:30

会場：さがみはら市民活動サポートセンター会議室

事例報告：NPO法人EGAO

NPO法人相模原プレイパーク・子どもの居場所ネットワーク

参加者数：23名(受講者20、事例報告2、税理士1)

スタッフ等：4名

第2回 NPO 初めの一步講座 緑区

日時：2016年5月19日(木) 13:30~16:30

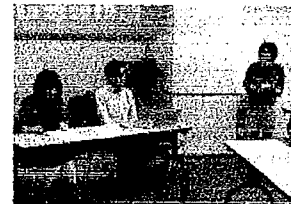
会場：橋本公民館

事例報告：NPO法人てくてく

NPO法人自遊クラブ

参加者数：13名(受講者10、事例報告2、税理士1)

スタッフ等：4名



第3回 NPO 初めの一步講座 南区

日時：2015年5月26日(木) 13:30~16:30

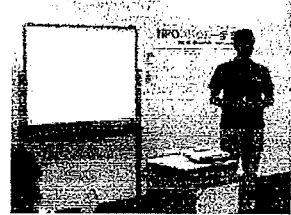
会場：ユニコムプラザさがみはら

事例報告：NPO法人ままのりあ、

NPO法人spitzen performance

参加者数：7名(受講者3、事例報告2、税理士2)

スタッフ等：4名



(報告)

●延参加者数：55名

●参加者の感想：

- ・様々な角度から説明して頂き、大変勉強になりました。
- ・全体的にわかりやすかったです。特にNPO法人の会計の話はとてもしっかりわかりやすかったです。ありがとうございました。
- ・NPOのことについて全く分からず、理解できたかというとなかなか難しく、今後も勉強が必要と思いました。

第三部は流れが速すぎてついていけず・・・今後も何回も参加させてください。



1-2 【NPO の会計講座】 全4回開催

考察：東京地方税理士会相模原支部の協力による会計講座も4年目となった。今年度も個別相談・訪問サポートの特典を設けて、継続したサポート体制をとりNPO会計の強化を図っていく。

趣旨：NPO 法人格を取得した団体の会計・税務に関する基盤強化を目的として開催。
活動計算書の構成を理解し、最低限、自力で帳簿をつけられるようになってもらう。
指定 NPO 申請に向けて会計事務のレベルアップを図る。

講師：東京地方税理士会相模原支部の税理士の皆様

参加費：500 円

定員：各 20 名

第 1 回 会計講座 STEP1 「日々の帳簿の付け方」、個別相談会

講師：東京地方税理士会相模原支部 荒井 秀樹 氏、小幡 博史氏

日時：2016 年 8 月 5 日（金） 14：00～16：00

会場：さがみはら市民活動サポートセンター 会議室

参加者数：18 名（受講者 13、税理士 5）

スタッフ等：3 名

個別相談：5 件、訪問サポート：1 件

〈報告〉

●参加者の感想：

- ・ NPO 法人化に向けての作業が大変そうに思えた。
- ・ 本当にまったくの初心者なので、各種帳簿のフォーマットや記入例なども配布して説明していただけるとありがたかったです。
- ・ わかりやすく勉強になりました。ありがとうございました。

第 2 回 会計講座 STEP2 「会計のお悩み相談ワークショップ」、個別相談会

講師：東京地方税理士会相模原支部 本郷 順子氏、金森 洋二氏

日時：2016 年 11 月 21 日（月） 14：00～16：00

会場：さがみはら市民活動サポートセンター 会議室

参加者数：20 名（受講者 16 名、税理士 4 名）

スタッフ等：2 名

個別相談：2 件、訪問サポート：0

〈報告〉

●参加者の感想：

- ・ 科目がよくわかって大変役立った。
- ・ 大変判りやすくご説明をいただいたので、理解がしやすかったです。
- ・ ”あるある”の質問に回答していただく形だったのでわかりやすかった。

第 3 回 会計講座 STEP3 「決算に向けての準備」、個別相談会

講師：東京地方税理士会相模原支部 田村 充代氏、宮脇 紀子氏

日時：2016 年 12 月 13 日（火） 14：00～16：00

会場：さがみはら市民活動サポートセンター 会議室

参加者数：15 名（受講者 11 名、税理士 4 名）

スタッフ等：3 名

個別相談：3 件、訪問サポート 1 件

〈報告〉

●参加者の感想：

- ・ 帳簿期末決算に関しての個別相談希望。勉強になります、ありがとうございます。
- ・ 難しく解り辛かった。（今まで経験していないので）具体的なサンプル（例）もみながら説明してもらえるといいと思います。

第 4 回 会計講座 STEP4 「決算書を作ろう！」、個別相談会

講師：東京地方税理士会相模原支部 福永 裕子氏、中野 修氏

日時：2017 年 3 月 23 日（木） 14：00～16：00

会場：さがみはら市民活動サポートセンター 会議室

参加者数：12 名（受講者 12 名、税理士 5 名）

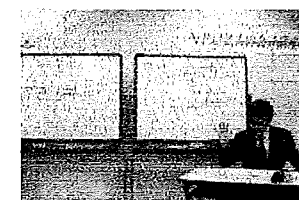
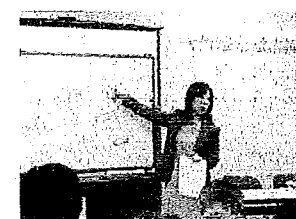
スタッフ等：3 名

個別相談：6 件（6 団体 6 名）、訪問サポート

〈報告〉

●参加者の感想：

- ・ 注記などすぐに役立つので出席してよかった。
- ・ 決算書についての知識が無かったので大変勉強になりました。



1-3 【知っておきたい労務の基本】

趣旨：NPOで安心して働いてもらうための環境整備や雇用者として最低限知っておきたいこと等、労務の基本について学ぶ。

講師：特定社会保険労務士 原田恵一氏

日時：2017年3月2日（木）14:00～16:00

会場：さがみはら市民活動サポートセンター

参加費：500円

定員：20名

参加者数：6名（受講者6）

スタッフ等：3名

〈報告〉

●参加者の感想：

- ・いくつかの事例を紹介してくれ、質問にも丁寧に答えてくれた。今後に大いに役立つ内容であった。
- ・労働契約を結ぶ場合の内容をどのようにしたらよいか悩んでいた。
NPO法人でも働き方が千差万別なので、個々の法人によって内容が異なる事を理解した。

1-4 【伝わる！事業報告書の書き方】

趣旨：事業報告書は総会時にはもちろん支援者や寄付を増やしたいときにも活用できる。読み手に伝わる書き方とそのコツを学ぶ。

講師：相模原市市民協働推進課 職員

日時：2017年3月9日（木）14:00～16:00

会場：さがみはら市民活動サポートセンター

参加費：500円

定員：20名

参加者数：10名（受講者10）

スタッフ等：3名

〈報告〉

●参加者の感想：

- ・事業報告書を書くのは全く初めてで、どのようにしたらよいか分からない状況でしたが、今日の講座で必要な多くの事を勉強することができて助かりました。
- ・無駄の無い説明でとてもよかった。

2. 市民活動活性化講座

2-1 【助成金申請のポイント】

考察：今回の『助成金申請のポイント』は定員を上回る申し込みがあった。やはり助成金に対するニーズは高く、助成金申請を考えている団体が多いことを実感した。

趣旨：NPOにとって最大の悩みは「資金」。今回はNPOの活動資金の一つである助成金について学ぶ。助成金の種類・申請時期などの情報を提供すると共に、申請時の注意点や審査のポイント等についてもお話する。また、かながわボランティア活動推進基金 21、日本政策金融公庫のNPO応援融資についての紹介も行う。

講師：さがみはら市民活動サポートセンター センター長 水澤 弘子

事例報告：かながわ県民活動サポートセンター

日本政策金融公庫厚木支店

日時：2016年6月20日（月）14:00～16:00

会場：けやき会館 3F セミナールーム1

参加費：500円

定員：20名

参加者数：27名（受講者20、協力者7）

スタッフ等：2名

〈報告〉

●参加者の感想：

- ・助成金の取得方法が良く分かりました。
- ・実際の申請で効果的なプレゼン例等見せてもらえれば、更にわかり易かったと思う。



2-2【NPOの広報スキルアップ講座】 全2回開催

考察：外部講師を招聘しての講座であったが、講師の人柄や講義の内容（スキル）が、受講者の満足度に直結すると感じた。市民活動団体にとってどちらの講座もすぐに活かせる具体的な内容が盛りだくさんであった。ただ、当日キャンセルが多かったのは残念だった。

趣旨：市民活動団体は様々な場面で自身の活動を伝える機会が多い。しかし想いを伝えたいがゆえに、ポイントを絞れず長々とした説明になりがちである。

「想いを伝える」とはどういうことか？本講座では、プレゼンテーションとチラシづくりの両面から、長年広告の世界で活躍してきた専門家を招聘し、その「コツについて話をしていただく。」

参加費：500 円

定員：各 20 名

第1回 想いが伝わる！プレゼンテーション

日時：2016 年 7 月 8 日（金） 13：30～15：30

会場：さがみはら市民活動サポートセンター会議室

講師：認定 NPO 法人 ハンズオン埼玉

副代表理事 吉田知津子 氏

参加者数：12 名（受講者）

スタッフ等：5 名

第2回 想いが伝わる！チラシの作り方

日時：2016 年 7 月 12 日（火） 13：30～16：30

場所：さがみはら市民活動サポートセンター会議室

講師：カクトルデザイン aZ

代表 大淵優子 氏・吉田恭子 氏

参加者数：16 名（受講者）

スタッフ等：3 名



（報告）

●延参加者数：36 名

●参加者の感想：

『想いが伝わる！プレゼンテーション』

- ・プレゼンテーションというのは人前で発表することだと思っていましたが、幅広いプレゼンが学べました。新しい発見、学びがありました。
- ・プレゼンのスキルかと思いきや、考え方を学ぶことができたかなと思います。

『想いが伝わる！チラシの作り方』

- ・グループで実際にチラシの構成を作ったり、広告の比較が出来たのが良かったです。
- ・具体的にチラシを見て作り、多くの人とも共有できたので勉強になりました。
- ・前よりチラシがうまく作れそうで、まさにスキルアップ講座でした。

6) 市民活動団体の交流機会の提供に関すること

1. ミニミニ利用懇の開催 「NPO ほっとカフェ」

サポートセンターの登録団体同士の交流を促進し、団体間の新たな連携のきっかけ作りとなること、また、情報交換や連携による各団体の活動の活性化を目的に、気軽に参加できるカフェ形式での交流会を今年度は計 4 回（7 月、9 月、11 月、1 月）開催。

尚、本事業は、2010 年度から開催していた『さが丸カフェ』を、今年度から『NPO ほっとカフェ』としてリニューアルした継続事業である。

趣旨：「熱い（hot）気持ち」で活動している市民活動団体や個人の方々が「ホッと一息」つける場所となること、また、このカフェで過ごす時間や交流が、さらに「熱く・元気に」活動する原動力となることを目指して新たなネーミングをつけ、さらなる団体間の交流・連携促進を行うものとする。

第1回 ～出会い、知り合い、つながろう～ NPO ほっとカフェ

考察：定員 20 名を大幅に上回る 30 名以上の申し込みがあり、急遽、会場を変更した。
当初の企画段階で想定していたテーマに興味ある団体や個人のみならず、行政関係者や社会福祉協議会、学校関係者など、多様な立場からの参加申し込みがあり、社会全体がこのテーマに関する意識・注目度の高さを感じた。

趣旨：ここ最近の相談事例や県内 NPO 団体の動向等を踏まえ、「フードバンク」「こども食堂」「無料の学習支援」等、生活困難を抱える子どもや家庭の支援を行う・行いたい団体・個人を対象とした情報交換&交流会を行う。これにより相模原市内の活動の現状や課題を知り、団体・個人の交流・連携を促進し、さらなる活動の活性化を図るものとする。

テーマ：フードバンク、こども食堂、学習支援について考えよう (1)

日時：2016 年 7 月 4 日 (月) 14:00～16:00

会場：けやき会館 3F セミナールーム 1

参加費：200 円

参加者人数：30 名 スタッフ等：4 名

協力：NPO 法人セカンドリーグ神奈川

内容：参加者自己紹介：名前と所属、取り組み内容等を発表

事例報告：NPO 法人セカンドリーグ神奈川の青柳様

WS：提供できる／不足しているものを付箋へ

情報・意見交換



第2回 ～出会い、知り合い、つながろう～ NPO ほっとカフェ

趣旨：前回に引き続き「フードバンク」や「こども食堂」「無料の学習支援」など、地域の子どもや家庭への支援がテーマ。
今回は、農業生産者等にも呼びかけ、更なる交流の機会を提供する。

テーマ：フードバンク、こども食堂、学習支援について考えよう (2)

日時：2016 年 9 月 5 日 (月) 14:00～16:00

会場：さがみはら市民活動サポートセンター 会議室

参加費：200 円

参加者人数：29 名 (団体 22 名、社会福祉協議会 3 名、個人 4 名)、

スタッフ等：3 名

協力：NPO 法人 畑と田んぼ環境再生会

参加者の感想：

- ・参加者の熱気がすごくてびっくりしました。相模原にもいろいろネットワークができつつあり嬉しいです。
- ・貴重な機会をご提供いただきありがとうございました。農業関係の方と交流できました。今後、情報交換をしてゆきたいと思います。
- ・いつもつなげて頂くばかりですみませんが、農家さんとはつながりました。
- ・フレンドリーで活発に進められたと思います。設営に際しテーブルを取り払ってのスタイルは、参加者の構えを取り払うことにつながったでしょう
- ・相模原の子ども食堂の様子がわかってとても良かったです。一回目より活動が進んでいらしやるところもあり、新たなつながりもあり楽しかったです。
- ・メーリングリストをぜひ作ってください。作りましょう！



第3回 ～出会い、知り合い、つながろう～ NPO ほっとカフェ

趣旨：昨今のペットブームの陰で安易な飼育放棄が後を絶たない現状や、動物と共に活動する団体の持つ課題や解決策の共有等を目的として開催する。

テーマ：動物愛護について考えよう！

日時：2016 年 11 月 7 日 (月) 14:00～16:00

会場：さがみはら市民活動サポートセンター オープンスペース

参加費：200 円

参加者人数：9 名 (団体 6、個人 2、行政 1) スタッフ等：2 名

協力：動物を考える「タマの会」



参加者の感想：

- ・動物に対する人の気持ちが参加者にとって切実であること。又、動物の育て方、マナーについて参考になりました。子どもたちの学校教育も必要と思いました。
- ・動物関係の活動されている人達との交流で有意義でした。横のつながりを持ち、問題提起し声を上げていくとの提案がありましたが、これからやっていけると良いですね。

第4回 ～出会い、知り合い、つながろう～ NPO ほっとカフェ

趣旨：2016年7月に市内で大変痛ましい事件が起き、犯人の偏った思想や犯行動機が広く報道される一方、相模原には、より良い地域社会の実現に向けて実際に活動されている方々もたくさんいる。相模原の市民活動に関わる一員として、活動に懸ける「思い」や「大切にしていること」を語り合い、新たな交流・連携を促進する場としたい。

テーマ：今 話そう、共に生きる社会とは

日時：2017年1月16日（月）14：00～16：00

会場：さがみはら市民活動サポートセンター オープンスペース

参加費：200円

参加者人数：19名（団体14、個人3、行政2）スタッフ等：2名

協力：NPO 法人クライム

参加者の感想：

- ・色々な方のご意見や思いを聞くことができて、とても良かったです。三世代交流がもっともっと多くの地域でコミュニティができると、とても良いと思いました。
- ・市内各セクションのつながりを強く、多くすることで相模原市はもっと住みやすい場所になると思います。



2. 利用者懇談会&交流会の開催

趣旨：年に一度、登録団体が一堂に会し、センターの事業を報告すると共に、其々の団体の活動をお互いに紹介し合い、交流を深める機会とする。

※地域づくり大学終了後の活動受け皿としてOB3名が協力

日時：2017年2月26日（日）14：30～19：30

会場：利用者懇談会：けやき会館 2F 大研修室 14：30～17：30

交流会：市民会館 あじさいの間 18：00～19：30

内容：①2016年度 サポートセンター事業報告

②情報交換ワークショップ「応援したい団体とは？」

③団体パネル人気投票

④事務連絡（ロッカー、レターケース利用団体の発表等）

⑤交流会

参加費：交流会のみ 1500円（飲食代として）

参加人数：利用者懇談会 95名（内スタッフ10名）、56団体

交流会 72名（ 〃 ）、26団体

感想：・こんなに様々な事業を行っていることを知らなかった。

リユースPC事業を始め、SCを活用していきたい。

パネルも作成したい。

・WSの小道具がしっかり準備されていてやりやすかった。

次回は、「応援される団体にどのくらい近づけたか？」をテーマにしても良いのでは。

・年に一度の交流の機会に、決山の笑顔があつて楽しかった。



3. 市民活動フェアの実施

考察：アンケート件数は前年度とほぼ同数で、センター周知度は3%程度UPした。

①第43回 相模原市民桜まつり

趣旨：市役所さくら通りをメイン会場に開催される「相模原市民桜まつり」にブースを出展し、多世代にアンケートを実施することにより、市民活動やサポートセンターの役割を周知し、関心をもってもらう機会とする。

日時：2016年4月2日（土）13時～16時、3日（日）10時～16時

場所：市役所前通り ロイヤルホスト前

内容：子ども向けゲーム「輪投げであそぼ。」



保護者にサポセンリーフレット配布とアンケートを実施

アンケート集計：411件 センター周知度は20% (昨年より3%アップ)

②NPO発表会 in イオン

考察：昨年度まで『企業とNPOのコラボフェア』と称して市内の商業施設を会場に開催していたイベントを、今年度から『NPO発表会』と改名し、イオン相模原店のみに開催することとした。本事業には、共和中学校の合唱部、麻溝台高校のチアダンス部の参加が恒例となり、中・高校との連携強化、更には保護者へのサポセンPRの機会となっている。

趣旨：「コラボフェア」同様、市民活動をより多くの市民に周知するため、企業に場所と広報を提供してもらい、パフォーマンスや体験ブースの出展を行う。

日時：2016年9月11日(日) 11:00～16:00

場所：イオン相模原店 パブリックスペース

内容：パフォーマンス&体験ブース

参加者：サポセン登録団体8団体、
たすかるバンク登録者3名(＋協力者3名)
近隣中・高校2校(共和中学校、麻溝台高校)



③パネル展示会

- ・あじさい会館 (台風のため23日より展示)

日時：2016年8月22日(月)～8月31日(水) 10日間

- ・市役所ロビー

日時：2016年9月17日(土)～9月30日(金) 15日間

- ・あじさい会館ロイヤルホスト側ロビーにパネル展示コーナーを常設
3枚のパネルを定期的に交換して掲示

4. さがみはら市民活動フェスタ 2016 の実施

考察：今年のフェスタは、好天に恵まれたたくさんの来場者で各ブースとも大変な賑わいとなった。早々に品切れになったブースもあり、団体のPRにも大きな効果があったと思われる。

ただ、出店団体のPR方法については一考の余地があり、今後の課題として考えていく必要がある。机、イスの搬出搬入では各団体に協力を要請し、その作業を通じて団体間のつながりにも好結果をもたらしたように思う。



※フェスタ終了後、自治会連合会のHPにサポセンアンケート結果を掲載していただいたことは、特筆すべき事である。

日時：2016年11月13日(日) 午前9時30分～午後3時

場所：淵野辺公園銀河アリーナ前

内容：アトラクション、模擬店

参加者：28団体(ブース22、パフォーマンス6)

スタンプラリー景品交換者数200人

(用紙不足で時間前に終了)

後援：相模原市自治会連合会、相模原青年会議所

協賛企業：(株)ウィッツコミュニティ、相陽建設(株)、

東京ユーキ(株)、北相トラベル(株)、

デュプロ(株)、弁護士法人相模原法律事務所



5. 市民活動団体と大学との交流機会の促進

- ・さがまちコンソーシアムインターンシップ受入(担当：江藤)

- ・中央大学インターンシップ

参加者：4名＋1名

期間：6月～12月 8回以上

内容：サポセン各種イベントに参加

- ・相模原市市民協働推進課インターンシップ

参加者：1名



7) その他センターの運営に関すること（ネットワーク事業など）

1. 相模ボラディア（市民活動支援 施設との連携）

サポートセンター、ボランティアセンター、国際交流ラウンジの3施設が連絡協議会を設置し、ネットワークを強化。青少年学習センターがオブザーバーとして参加。

①月1回協議会を開催し情報交換

②相談業務の連携

③3施設の登録団体情報をHPで共有

④相模ボラディアのリーフレットを作成

⑤協働事業の企画と実施

・「夏休み、中・高校生ボランティア チャレンジスクール」開催

日時：7月3日（日）9:30～12:00 オリエンテーション

7月21日（木）～8月18日（木）体験期間

8月19日（金）9:30～11:30 まとめの会

申込者：42名

修了者：41名

内 容：ボランティア説明会、体験、ボランティア報告会

結 果：ボランティア報告書「わくわく どきどき体験記」発行

・パネル展示開催9月2日（金）～9月16日（金）15日間



2. 地域ボランティアエアポート

趣旨：県教育委員会では、高校生のボランティア活動を地域において支援する拠点として、県内20か所の市民活動サポートセンター等を「地域ボランティアエアポート」として位置付けている。

※昨年までは、県内の市民活動支援センターと県立高校の教員が意見交換する場が設けられていたが、今年度から「高校生のためのボランティア応援コース」と称した夏休みボランティア講座に変更され、高校との交流の機会が経たれてしまった。

「高校生のためのボランティア応援コース」

・第1回 6月12日（日）13:30～16:30 県立図書館 新館4階セミナールームにて
～ ボランティア活動スタートアップ講座～

・第2回 6月から8月 ボランティア活動に参加

・第3回 8月28日（日）13:30～16:30 県立図書館 新館4階セミナールームにて
～ ボランティア活動ステップアップ講座～

3. たすかるバンク

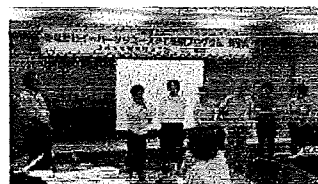
市内で公益的な活動をしている市民団体と社会貢献したい市民をつなぎ、市民活動の更なる活性化を目指すためのニーズ及び人材ネットワーク

・ニーズ登録、人材登録データの更新 を行う

・登録状況：人材登録 13 件

ニーズ登録 45 件

マッチング 35 件 (2016/4～3月)



4. 第13回 かながわイーパーツリユースPC寄贈プログラム

趣 旨：市民活動団体の情報発信力UPを応援！！

情報化や組織の基盤強化に力を入れて取り組みたいと

考えている団体に、企業提供のリユースPCを寄贈します。

このプログラムは、認定NPO法人イーパーツと県内10のNPO支援センター（藤沢、茅ヶ崎、小田原、大和、座間、平塚、綾瀬、相模原、鎌倉、逗子）の共催で実施します。

日 時：募集期間5月10日（火）～7月10日（日）

審査会 7月19日（火）10:00～17:00 藤沢市市民活動推進センターにて

寄贈式 8月27日（土）14:00～16:00 座間サニープレイスにて

内 容：各センターで募集、書類審査のうえ寄贈団体決定、寄贈式、報告

応募団体：6団体

寄贈団体：6団体



5. さぼせんキッズタウンゆめみはら

考 察：今年度は参加者募集チラシを市内小学校全校に配布。その結果、南区 201 名、中央区 205 名、緑区 105 名、計 511 名の応募があり、本事業への関心の高さがうかがえた。また、キッズタウンに関する問い合わせは、センターHPの「前年度報告書」を案内した結果、ビジター数が通常月より大幅にアップした。市民活動団や企業の大人たちにとって、子どもたちの自主性を尊重しどう関わるかが大きな課題であったが、今年が3回目ということもあり大人と子どもが相互に学び合う関係性が生れ、世代間の交流が進んだように思えた。

趣 旨：次世代育成と多様なセクター間の交流を目指し、子どもと大人と一緒に考えてつくる仮想のまち「さぼせんキッズタウン」を開催する。

これは未来を担う子どもたちの自主性・コミュニケーション能力を育てると同時に、市民活動団体、企業、自治会、行政などがどのように協力し合ってまちづくりを行っているのかを知り、社会の仕組みや市民活動の重要性を、楽しみながら学ぶことができる。

日 時：2016 年 7 月 31 日（日） 10：00～16：00

場 所：けやき会館 2 階、3 階

内 容：準備段階から子どもたちがキッズスタッフとして企画会議に参画しながら、市民活動団体、企業、公共施設等が出展するブースで形成される仮想のまち「キッズタウンゆめみはら」で、子どもたちが働き、遊び、学び、買物をします。

参加者：子ども 参加者	113 名	
キッズスタッフ 20+4 名	24 名	137 名
保護者&一般見学者		50 名
ブース出展者（団体・企業 25 者）	50 名	
大学生インターンシップ	6 名	
実行委員・行政・SCスタッフ	23 名	79 名
合 計		266 名



6. 企業×NPO×大学のパートナーシップミーティング in 相模原 《市民会議事業》

※神奈川県とNPO法人さがみはら市民会議が協働事業として実施し、相模原市とさがみはら市民活動サポートセンターが協力

考 察：基調講演、つながり体験談は身近な事例が報告されたせいか、参加者のマッチング意識が高まり、積極的に種まきができたと思われる。また、交流会では多くの方が名刺交換を行い、マッチングの可能性も幾つか確認することができた。今後は市民活動サポートセンターが主体的にアフターフォローを行い、マッチング状況を県と情報を共有していく。

大学のインターンシップ生、地域づくり大学受講者OBの協力を得ることにより、彼らに本事業の趣旨を理解してもらおうと共に、実践の場を提供することができた。

趣 旨：地域の課題を継続的に解決していく一助として、企業・NPO・大学を仲介し、連携の機会を提供する。

日 時：2016 年 10 月 24 日（月） 13：00～17：00

場 所：ユニコムプラザさがみはら

内 容：基調講演：ウィッツコミュニティ（株）代表取締役 柴田正隆 氏

「豊かな地域社会の実現に向けて」
～地域に密着した、顔が見える社会貢献を～

つながり体験談：リレー方式による 5 者からの報告

R-スタジオ、相模原おもちゃドクターの会、
新成人を応援する会、ダイドードリンコ（株）、
NPO 法人セカンドリーグ神奈川



会場インタビュー：

(株) セレモア、創志館～相模原でらこやへ、
(株) LIXIL 広報部、(株) 伊藤園
つながろう会：ワールドカフェ形式 (2 ラウンド)
交流会 (名刺交換会)

対 象：マッチングに興味ある企業・NPO・大学の関係者

定 員：70 名

参加者：83 名 (NPO43 名、企業 22 名、その他 18 名)、

事務局・スタッフ：20 名 総数：103 名

※マッチング事例

- * R-スタジオ、NPO法人愛の素 } ×おもちゃドクターの会
- * NPO法人アフリカヘリテージコミュニティ }
- * ダイードリンコ (株) ×新成人を応援する会
- * (株) セレモア相模原本社 ×NPO法人とともに会
- * (株) LIXIL ×江戸しぐさ虹の架け橋
- * (公社) 相模原・町田大学地域コンソーシアム 学生クラブ ×相生こども食堂
- * 認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・神奈川 相模原会場 ×
(株) ドリームファクトリーワールドワイド



※パートナーシップ支援事業成果共有会

日 時：2017 年 3 月 6 日 (月) 10:00～13:00

場 所：横浜富士ゼロックス お客様価値創造センター (みなとみらい)

定 員：50 名

内 容：基調講演 (株) カヤック CEO 柳澤大輔 氏

マッチング事業報告

マッチング事例発表：相模原から (株) セレモア ×NPO法人とともに会

富士ゼロックス (株) のCSRの取り組み紹介

ワークショップ：「新たな連携を話し合う」

主 催：神奈川県

協 力：富士ゼロックス (株)、横浜州市民活動支援センター、NPO法人YMCAコミュニティサポ
ート、相模原市指定NPO法人さがみはら市民会議、一般社団法人ソーシャルコーディ
ネートかながわ

8) その他

1. 人材育成に関すること

スタッフ研修の強化

【外部研修】

6 月 17 日 (金) 神奈川県・日本NPOセンター主催「NPO支援センター初任者研修 2016」：
新スタッフ 4 名参加

11 月 14 日 (月) 神奈川県CEOミーティング (水澤)

11 月 23 日 (水) 日本NPOセンター 市民セクター全国会議 (鈴木)

11 月 27 日 (日) 神奈川子ども未来ファンド 2016 年度 講演会 助成報告会 (鈴木)
「支えあって生きる社会を！～子どもと大人の「居場所」づくり～」
講師 西野博之氏 (神奈川子ども未来ファンド理事)

2017/1 月 13 日 (金)、27 日 (金)

東京ボランティア・市民活動センター 支援力アップ塾 (鈴木)

業務を通じてミッション・ビジョンを共有する

～コミュニケーションの場のづくり方～

講師 廣水乃生 (のりお) (コミュニティファシリテーション研究所代表)

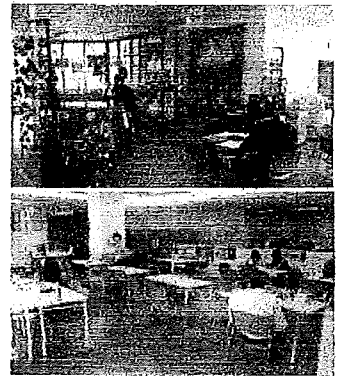
【内部研修】

趣旨：スタッフのスキルアップを目的とし、月 1 回の休館日に内部研修を行い、センター
業務や市民活動に関する基礎知識について勉強会を開催する。

4 月：市役所 市民協働推進課の業務について

5 月：NPO法人 さがみはら市民会議の活動紹介

- 6月：NPO法人 市民フォーラムさがみはらの活動紹介
- 7月：相模原市立青少年学習センターについて
キッズタウンの概要と役割分担について
- 8月：ボランティアセンターの活動について 台風のため中止
- 9月：ボランティアセンターの活動について
- 10月：市民活動フェスタの役割分担とスケジュール確認
- 11月：「相談」受付時の注意点の確認
- 12月：中止
- 1月：役割分担の確認と提案・課題の検証
- 2月：応募スタッフ面接のため中止
- 3月：おだわら市民交流センター視察



2. 外部イベントへの参加

- ・ユニコムまちづくりフェスタ
 - 日 時：10月16日（日）
 - 会 場：ユニコムプラザさがみはら
 - 内 容：ブース出展、パネル展示
魚釣りゲーム&アンケート（身近で気になること）
- ・緑区絆づくり交流会
 - ※緑区地域デビュープロジェクト実行委員会に参画
 - テーマ：緑区絆づくり交流会 ～つなげよう子育ての輪～
 - 日 時：2月4日（土）13：00～16：00
 - 会 場：ソレイユさがみ セミナールーム1
 - 内 容：ブース出展、パネル展示
魚釣りゲーム&アンケート（身近で気になること）
 - 参加者：78組 202名



3. 外部からの協力依頼

【講演等】

- ・総合学習センター（水澤）
 - 平成28年度 相模原市教育研究発表会
 - 日 時：8月23日（火）午後の部 13：30～16：30
 - テーマ：第10分科会 子どもの可能性を広げる多様な交流
 - 会 場：産業会館 大研修室
 - 内 容：「さばせんキッズタウンゆめみはら2015」の取組を発表
- ・さがみはら地域づくり大学（水澤）
 - 日 時：9月7日（水）
 - 会 場：ユニコムプラザさがみはら
 - 内 容：協働の考え方と様々な協働のかたち
- ・東海大学 文学部心理・社会学科 小川教授（水澤・鈴木）
 - 日 時：12月5日（月）13：00～
 - 会 場：東海大学（平塚）
 - 内 容：地域・社会的課題に取り組んでいる市民活動団体の紹介とSCの役割
- ・健康福祉局 保険高齢部 地域包括ケア推進課（水澤）
 - 日 時：12月17日（土）10：00～12：00
 - 会 場：ウェルネスさがみはら7階 視聴覚室
 - テーマ：平成28年度 生き生きシニアのための地域活動補助金事業研修会
「地域活動を継続するヒント」
 - 内 容：さがみはら市民活動サポートセンターの紹介
- ・相模原市（消費生活総合センター）・第19回くらしを考えるつどい相模原実行委員会（水澤）
 - 日 時：2月18日（土）13：30～15：30
 - 会 場：大野北公民館大会議室
 - テーマ：知ることからはじめよう！～食品ロス・フードバンク・こども食堂～
 - 内 容：市内の子ども食堂の現状と課題について

【委員等】

- ・神奈川県
指定特定非営利活動法人審査会 構成員（水澤）
- ・大和市
大和市協働推進会議 委員（水澤）
大和市市民活動推進補助金 市民活動アドバイザー（鈴木）
- ・平塚市
平塚市協働事業審査会 委員（水澤）
ひらつか市民活動ファンド 運営委員（鈴木）

4. 外部からの視察等

- ・八王子市市民活動支援センター
日 時：10月28日（金） 14：00～16：00

以上

活動決算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人さがみはら市民会議

(単位:円)

科 目			予 算	昨年度決算	差 額		
I 経常収益	1	受取会費	正会員受取会費	90,000	72,000	18,000	
			賛助会員受取会費	15,000	0	15,000	
	2	受取寄附金		40,000	3,000	37,000	
	3	受取助成金		0	0	0	
	4	事業収益	サポートセンター事業収益	27,329,000	27,329,000	0	
			機器使用料収益	1,150,000	1,156,145	-6,145	
			広告収益	200,000	194,400	5,600	
			参加費収益	62,000	88,800	-26,800	
			事務支援サービス収益	46,000	59,360	-13,360	
			その他事業受託収益	80,250	351,209	-270,959	
5	その他収益	受取利息	0	97	-97		
		雑収益	0	209,200	-209,200		
経常収益合計			29,012,250	29,463,211	-450,961		
II 経常費用	1 事業費	(1) 人件費	給料手当	15,248,200	15,350,290	-102,090	
			法定福利費	107,000	99,477	7,523	
			人件費計	15,355,200	15,449,767	-94,567	
		(2) その他経費	会場費	70,000	62,378	7,622	
			旅費交通費	140,000	312,300	-172,300	
			印刷費	40,000	29,495	10,505	
			消耗品費	1,200,000	1,078,364	121,636	
			通信費	300,000	269,653	30,347	
			講師謝礼費	300,000	329,745	-29,745	
			広告宣伝費	400,000	751,503	-351,503	
			委託費	20,000	233,280	-213,280	
			研修費	200,000	219,342	-19,342	
			会議費	200,000	173,160	26,840	
			機器使用料	680,000	623,073	56,927	
			租税	1,100,000	1,088,000	12,000	
			賃借料	8,423,472	8,423,472	0	
			雑費	73,727	122,873	-49,146	
			その他経費計	13,147,199	13,716,638	-569,439	
	事業費計		28,502,399	29,166,405	-664,006		
	2 管理費	(1) 人件費	給料手当	0	0	0	
			法定福利費	0	0	0	
			人件費計	0	0	0	
		(2) その他経費	会場費	30,000	4,620	25,380	
			消耗品費	10,000	0	10,000	
			通信費	15,000	0	15,000	
			租税公課	1,000	0	1,000	
			支払手数料	23,000	27,595	-4,595	
			渉外費	56,000	106,896	-50,896	
			管理費計		135,000	139,111	-4,111
			経常費用計		28,637,399	29,305,516	-668,117
		当期経常増減額		374,851	157,695	217,156	
		III	経常外収益	0	0	0	
		経常外収益計	0	0	0		
IV	経常外費用	0	0	0			
	経常外費用計	0	0	0			
税引前当期正味財産増減額		374,851	157,695	217,156			
法人税, 住民税及び事業税		70,000	91,800	-21,800			
当期正味財産増減額		304,851	65,895	238,956			
前期繰越正味財産額		2,680,719	2,680,719	0			
次期繰越正味財産額		2,985,570	2,746,614	238,956			

貸借対照表 (平成29年3月31日現在)

法人の名称 特定非営利活動法人さがみはら市民会議
(単位:円)

勘 定 科 目	金 額	
1. 資産の部		
普通預金	5,093,039	
(流動性現預金)		5,093,039
〔現金及び預金〕		5,093,039
〔当座資産〕		5,093,039
未収入金	69,774	
〔流動資産〕		5,162,813
【資産の部合計】		5,162,813
2. 負債の部		
未払金	1,520,743	
預り金	22,056	
未払法人税等	91,800	
未払消費税	781,600	
〔流動負債〕		2,416,199
【負債の部合計】		2,416,199
3. 正味財産の部		
正味財産	2,746,614	
(うち当期正味財産増加額)	65,895	
〔正味財産〕		2,746,614
【正味財産の部合計】		2,746,614
【負債及び資本の部】		5,162,813

財産目録 (平成29年3月31日現在)

法人の名称 特定非営利活動法人さがみはら市民会議
(単位:円)

勘 定 科 目		金 額
1. 資産の部		
1) 流動資産		
普通預金	横浜銀行 相模原駅前支店 1711768	430,498
	横浜銀行 相模原駅前支店 1711768	2,748,837
	駿河銀行 相模原支店 1235375	1,913,704
未収入金	コピー代	69,774
[流動資産合計]		5,162,813
2) 固定資産		0
[固定資産合計]		0
【資産の部合計】		5,162,813
2. 負債の部		
1) 流動負債		
未払金		1,520,743
	内訳 委託費 (税理士報酬)	233,280
	旅費交通費	36,500
	3月分人件費	1,185,623
	FMさがみ出演料	64,800
	同 振込手数料	540
預り金	源泉税預り金	22,056
未払法人税		91,800
未払消費税		781,600
[流動負債合計]		2,416,199
2) 固定負債		0
[固定負債合計]		0
【負債の部合計】		2,416,199
3. 正味財産		2,746,614